

事務事業名	住宅等災害復旧資金利子補給事業				担当	建設部 建設課 住宅係		
政策名	0	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	6	安全で快適な住まい・まちづくり			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 23 年度～ 32 年度）		
法令根拠	真岡市住宅等災害復旧資金利子補給金交付要綱							
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	4. 災害救助費	1. 災害救助費				
事業概要	平成23年3月11日発生した東日本大震災及び平成24年5月6日発生した竜巻被害による被災者の経済的負担の軽減を図り、もって円滑な災害復旧を推進することを目的とする。 真岡市に居住している方に対して、上記災害で被災した住宅及び付随する工作物の改修のために金融機関から借入れた住宅等災害復旧資金の利息分を2%まで補給する。 補給対象借入限度額500万円 利子補給期間 最長7年 受付終了 平成26年3月末							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 利子補給件数 95件 利子補給額 1,273,517円 31年度計画 利子補給件数 20件 利子補給額 312,833円	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・東日本大震災により被害を受けた住宅及び付随する工作物。 震災被害住宅 全壊12戸 半壊118戸 一部損壊14、269戸 ・竜巻により被害を受けた住宅及び付随する工作物 住宅が被災した世帯 120世帯	ア 利子補給件数	件	157	144	106	95	20	
	イ 利子補給額	円	3,899	2,884	2,206	1,274	313	
	ウ							
	エ							
	オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 被災した住宅及び付随する工作物の改修のために金融機関から借入れた住宅等災害復旧資金の利息分を2%まで補給することにより、建物等の改修を促進させる。	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア 被災住宅数	戸	14,519	14,519	14,519	14,519	14,519	
	イ							
	ウ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 被災者の経済的負担を軽減することにより、被害を受けた住宅や付随する工作物の改修を促進し、安全・快適な居住環境を確保する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア 利子補給を受けて改修された戸数	戸	172	172	172	172	172	
	イ							
	ウ							
⑤ 総事業費の推移	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
	ア 住宅対策に力を入れてほしいと回答した人の割合	%	6.6	2.0	2.1	1.6	3.5	
	イ							
	ウ							
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	1,212	669	150	32	0
地方債		千円	0	0	0	0	0	
その他		千円	0	0	0	0	0	
一般財源		千円	2,687	2,215	2,056	1,242	313	
事業費計(A)		千円	3,899	2,884	2,206	1,274	313	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	
	人件費計(B)	千円	335	332	332	334	334	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,234	3,216	2,538	1,608	647	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、真岡市では広範囲に住宅等に被害が発生した。それを受けて、被害を受けた住宅や付随する工作物の改修の促進を目的として利子補給事業を開始した。栃木県で平成23年4月8日に栃木県被災住宅再建支援事業補助金交付要綱が制定され、平成23年6月20日に真岡市住宅等災害復旧資金利子補給金交付要綱を告示した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	初年度の申請件数は106件である。（内、初年度利子補給件数は105件） 平成24年5月発生した竜巻被害に対応するため、交付要領を変更した。 受付期間が平成26年3月31日で終了したため、以降の7年間は助成金支払事務のみとなる。（令和2年度で事業完了）
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	提出書類の簡素化を要望されている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 被害住宅等の改修を促進し安全安心な居住環境の確保を目的としているので、安全で快適な住まい・まちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事業は、安全安心なまちづくりのため公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 罹災証明を受けた建物を対象として、建物改修を促進し住環境の整備を行っているので妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 被災者支援事業であり、被災した全ての住宅を対象としており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 利子補給期間を定めて交付決定しており廃止は出来ない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 真岡市住宅等災害復旧資金利子補給金交付要綱に基づき利子補給をしており削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で対応しており削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡市内の被災した全ての住宅等を対象としており公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							